



625号  
〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2 日港  
福会館 5階  
Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622  
メール roren@kensu.jp  
ホームページ http://www.kensu.jp/  
全国検数労働組合連合  
書記局



『生活不安』『雇用不安』『将来不安』…。20春闘、全国団結で払拭しよう！

# 第71回 検数労連中央委員会開催

力を合わせて20春闘要求を前進させよう！

1月29日(木)～30日(金)にかけて、シーパレスリゾート豊橋で第71回全国検数労連中央委員会が開催され、19秋年末闘争経過と中間総括、20春闘方針(案)等について論議がされました。

## 【19秋年末闘争について】

19秋年末闘争経過では、主に各地域より19冬季一時金交渉に対する意見が集中して出されました。

日検協会の回答に対しては、業績部別の回答を乗率部分の回答に移行させるような交渉をしていくことや、乗率2.0ヶ月を突破させるためには要求方式を含めた交渉の在り方を変える必要があるとの意見が出されました。全日検の回答に対しては、拡大している地域格差の圧縮や組合要求にない回答に対しての課題となっているとの意見が出されました。

これら組合要求とかけ離れた回答を出させないためにも有額回答前段での交渉における組合主張の強化と要求提出から妥結に至るまでの粘り強い交渉が求められるとの意見が出されました。

中央としては支給日も要求の一つとなっているものの、交渉においては組合主張

を両協会に理解させるべく粘り強く交渉を進めていくこととしています。

## 【20春闘方針について】

検数労連は20春闘を次の「4つの柱」を基本にたてかっ

- ①切実な職場要求を前進させる春闘。
- ②港湾の『体制的合理化』とたたかう春闘。
- ③国民的だたかに合流する春闘。
- ④組織強化・拡大をすすめる春闘。

検数両協会ともに『働き方改革』の影響から時間外の抑制に力を入れている中で、時間外労働に頼った賃金体系となっている私たちの実質賃金も目減りしている。そのような中で若年層の退職者を止めるべく、時間外に頼らない賃金体系の確立を求め要求に沿った回答を提示させるべく交渉を積み重ねていきます。

少子高齢化による労働者不足が進む中、政府や荷主・ユーザーが一体となってAターミナルの実現に向け取り組みを進めようとしている。

全国港湾は、国がAターミナルを目指す中で労使での基本的な考え方を作らなければ、国や荷主・ユーザーに使いやすいだけの港になり、そのことは

港湾労働者の雇用不安につながる。業界団体として港湾運送の今後についての考え方がない限りは反対であると表明しています。検数労連も港湾産別に結集し、港湾の『体制的合理化』をたたかう春闘を構築して

企業内の賃上げのたたかいと政治や経済の仕組みを変えさせる社会的なたたかいを強化・発展させていきます。今の日本では政治が私たちの雇用やくらし、職場に直結しており、企業内のたたかいだけでは要求を実現させることが難しい状況となっています。20春闘でもこれまでと同様に検数両協会に対する賃上げ要求だけではなく、ナショナルセンターでもある全労連等に結集し、政治を変えるたたかいに取組みます。とりわけ、安倍9条改悪阻止、労働法制改悪阻止、社会保障改悪阻止、米軍辺野古新基地建設阻止、消費税減税、脱原発を中心に幅広い視点で取り組みを進めていきます。

20春闘要求の実現には組織強化・拡大は必要不可欠となります。組織強化については20春闘期間中、可能な限り全国に中央役員を全国オルグへと派遣していきます。また、検数労連独自の『青年学習交流会』の開催や全国港湾労働セミナーへの参加等も積極的に取り組んでいきます。組織拡大については、2月～4月を『春の組織拡大期間』と

して、組織拡大計画を基に取り組みを進めていきます。また、春闘期間中に組織拡大を中心とした機関紙発行も計画し、組織拡大を後押ししていきます。20春闘勝利に向けて、中央・地域・職場が一体となり、大幅賃上げを目標としてガンバロー！



【新型コロナウイルス等の感染症対策について】

新型コロナウイルスの感染による肺炎が中国だけでなく日本やアジア各地、アメリカやオーストラリア等でも確認されています。組合としても両協会に対し、企業別で対策について周知徹底するよう申し入れていますが、風邪や季節性インフルエンザなどの一般的な感染症予防のためにも、咳エチケットや手洗いを徹底し、ウイルスの感染を防ぎましょう。

第1回 検数労連20春闘交渉は2月12日(水)14時からに決定！要求提出、趣旨説明を行います。